

外国語学研究科

博士前期課程

教育研究上の目的

本研究科の博士前期課程は、高度な外国語の運用能力を基盤とし、言語、文化、文学、歴史、言語教育の分野に関する優れた専門知識と研究能力と広い視野とを身につけて国際的な職業人・教育者・研究者として活躍できる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本研究科の教育研究上の目的を踏まえ、本研究科の博士前期課程では、学士課程卒業までに身につけた外国語の運用能力・教養・専門知識を基盤に、外国語の運用能力を一層高め活用しながら、言語、文化、文学、歴史、言語教育の分野で優れた専門知識と研究能力と広い視野とを身につけて、本学共同研究機関である人文学研究所や言語研究センター、非文字資料研究センターの諸活動と緊密に連携しつつ、国際的な職業人・教育者・研究者として活躍できる人材を育成することを目標としています。それとあわせて、この課程は、言語教育の現場にいる人たちのために再教育を行うことも教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本研究科の博士前期課程では、各専攻のカリキュラムにしたがって所定の単位を修得し、提出した修士論文が専攻内規に則って審査され合格した者は、以下の能力を身につけていると判断され、修士（文学）の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力
 - (1) 外国の言語、文化、歴史などに関する広い知識を身につけている。
 - (2) グローバル化時代における社会の変化に適応する行動力を身につけている。
2. 国際的感性とコミュニケーション能力
 - (1) 修得した外国語（英語、スペイン語または中国語）を正確に運用する力を身につけている。
 - (2) 異文化コミュニケーションを積極的に行い、異なる文化的背景を持つ人々と交流し、相互理解を深める力を身につけている。
3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能
 - (1) 欧米言語文化専攻または中国言語文化専攻が取り扱う分野についての優れた専門知識と研究能力と広い視野を身につけている。
 - (2) 専門職・教育職・研究職に必要な思考力と、産業界・教育界・学界において国際的に活躍できる力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本研究科の博士前期課程は、高度な外国語の運用能力を基盤とし、言語、文化、文学、歴史、言語教育の分野に関する優れた専門知識と研究能力と広い視野とを身につけて国際的な職業人・教育者・研究者として活躍できる人材を育成するために、以下のような教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施
 - (1) 欧米言語文化専攻は、「英語教育・英語学」、「英米文化・英米文学」、「スペイン語圏言語文化」、「比較言語文化」、「国際日本文化研究」の5コースにカリキュラムを編成し、中国言語文化専攻は、中国語圏の「言語」と「歴史・文化」の2領域にカリキュラムを編成しています。
 - (2) 学士課程教育との接続に配慮しつつ、外国語の運用能力を一層高め活用しながら、言語、文化、文学、歴史、言語教育の分野について理論的探究能力、専門知識の応用能力と広い視野を身につ

けられるカリキュラムを提供しています。

(3)教育者としての能力を高めるために、TA(ティーチング・アシスタント)を務める機会を用意しています。

2. 教育の方法と評価

(1)教育課程の実施にあたっては、学生の独立思考と問題発見を促し、ディスカッションを通してコミュニケーション能力を高め、問題解決の方法を模索し、見つけ出す力を培います。

(2)単位制度の実質化を図り、成績評価の基準を明確化しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

1. 大学院教育によって培う能力

(1)本研究科が取り扱う分野の基盤となる専門知識と基礎的な研究能力

2. 本研究科の求める入学者

(1)本研究科が取り扱う分野に必要な高度な外国語の運用能力を持つ人

(2)本研究科が取り扱う分野に必要な基礎知識を有する人

3. 大学までの能力に対する評価(選抜方法)

(1)研究に必要な外国語の運用能力、専門とする分野に対する関心、基礎的な知識および研究に対する意欲の高さを基準に選考します。

外国語学研究科

博士後期課程

教育研究上の目的

本研究科の博士後期課程は、高度な外国語の運用能力を基盤として、言語、文化、文学、歴史、言語教育のいずれかの分野に関する高度の専門知識と研究能力とを身につけて専門的かつ国際的な研究者・教育者・職業人として活躍できる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本研究科の教育研究上の目的を踏まえ、本研究科の博士後期課程では、博士前期課程修了までに身につけた外国語の運用能力・教養・専門知識・研究能力を基盤とし、外国語の運用能力を一層高め活用しながら、言語、文化、文学、歴史、言語教育のいずれかの分野で高度の専門知識と研究能力とを身につけて、本学共同研究機関である人文学研究所や言語研究センター、非文字資料研究センターの諸活動と緊密に連携しつつ、専門的かつ国際的な研究者・教育者・職業人として活躍できる人材の育成を目標としています。それとあわせて、この課程は、言語教育の現場にいる人たちのために再教育を行うことも教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本研究科の博士後期課程では、各専攻のカリキュラムにしたがって所定の単位を修得し、提出した博士論文が専攻内規に則って審査され合格した者は、以下の能力を身につけていると判断され、博士（文学）の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

- (1) 外国の言語、文化、歴史などに関する広い知識を身につけている。
- (2) グローバル化時代における社会の変化に適応する行動力を身につけている。
- (3) 自立的な思考力、既成の理論に対する果敢なチャレンジ精神を身につけている。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

- (1) 修得した外国語（英語、スペイン語または中国語）を、さまざまな場面において正確に運用する力を身につけている。
- (2) 世界の動きに関心を寄せ、異文化コミュニケーションを積極的に行い、異なる文化的背景を持つ人々と交流し、相互理解を深める力を身につけている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

- (1) 欧米言語文化専攻または中国言語文化専攻が取り扱う分野についての優れた専門知識と研究能力と広い視野を身につけている。
- (2) 専門職・教育職・研究職に必要な思考力と、産業界・教育界・学界において国際的に活躍できる力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本研究科の博士後期課程は、高度な外国語の運用能力を基盤として、言語、文化、文学、歴史、言語教育のいずれかの分野に関する高度の専門知識と研究能力とを身につけて専門的かつ国際的な研究者・教育者・職業人として活躍できる人材を育成するために、以下のような教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施

- (1) 博士前期課程教育との接続に配慮しつつ、外国語の運用能力を一層高め活用しながら、言語、文化、文学、歴史、言語教育のいずれかの分野で高度の専門知識と研究能力とを身につけられるカリ

キュラムを提供しています。

- (2) 欧米言語文化専攻は、「英語教育・英語学」、「英米文化・英米文学」、「スペイン語圏言語文化」、「比較言語文化」、「国際日本文化研究」の5コースにカリキュラムを編成し、中国言語文化専攻は、中国語圏の「言語」と「歴史・文化」の2領域にカリキュラムを編成しています。
- (3) 自ら研究課題を設定し研究活動を行うための指導と機会を提供し、学内外の研究活動の場における研鑽がえられるようにしています。
- (4) 教育者としての能力を高めるために、TA(ティーチング・アシスタント)を務める機会を用意しています。

2. 教育の方法と評価

- (1) 教育課程の実施にあたっては、学生の独立思考と問題発見を促し、ディスカッションを通してコミュニケーション能力を高め、論理的な思考力を養い、問題解決の方法を模索し見つける力を培います。
- (2) 単位制度の実質化を図り、成績評価の基準を明確化しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

1. 大学院教育によって培う能力

- (1) 本研究科が取り扱う分野の基盤となる専門知識と高度な研究能力

2. 本研究科の求める入学者

- (1) 本研究科が取り扱う分野に必要な高度な外国語の運用能力を持つ人
- (2) 本研究科が取り扱う分野に必要な専門知識を有する人

3. 博士前期課程までの能力に対する評価(選抜方法)

- (1) 研究に必要な外国語の運用能力、専門とする分野の知識、研究能力および研究に対する意欲の高さを基準に選考します。